

総務文教常任委員会記録

平成30年4月9日（月）

場所：鳥栖市議会 第1委員会室

平成30年4月9日 日程及び付議事件

日次	月日	摘要
第1日	4月9日(月)	案 件 職員の人事異動について 報 告(教育委員会事務局学校教育課) 学校給食のランニングコストについて 学校閉庁日の設定について 〔報告、質疑〕

1 出席委員氏名

委員長	下田	寛	委員	中村	直人
副委員長	松隈	清之	〃	飛松	妙子
委員	齊藤	正治	〃	竹下	繁己
〃	尼寺	省悟	〃	西依	義規

2 欠席委員氏名

なし

3 説明のため出席した者の職氏名

総務部	長	野田	寿
総務課長補佐兼文書法制係長		江下	剛
総務部次長兼契約管財課長		三橋	和之
契約管財課主幹		中嶋	浩一
産業経済部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事		萩原	有高
庁舎建設課長		古澤	哲也
庁舎建設課長補佐兼庁舎建設係長		田中	秀信
会計管理者兼出納室長		吉田	秀利
選挙管理委員会事務局次長		廣重	浩三
監査委員事務局長		古賀	和教
企画政策部	長	石丸	健一
総合政策課政策推進係長兼まち・ひと・しごと創生推進室地方創生推進係長		田中	大介
企画政策部次長兼まちづくり推進課長兼鳥栖駅周辺整備推進室長		藤川	博一
まちづくり推進課長補佐兼鳥栖駅周辺整備推進室長補佐		下川	広輝
まちづくり推進課鳥栖駅周辺整備推進室整備推進係長		杉本	修吉
情報政策課長		野下	隆寛
情報政策課長補佐兼情報政策係長		楠	和久
情報政策課広報統計係長		山内	一哲

教	育	長	天	野	昌	明
教	育	次	長	白	水	隆
教	育	総務課	総務係	長	眞	子
学	校	教	育	課	長	平
学	校	教	育	課	参事兼課長補佐兼指導主事	中
学	校	教	育	課	参事兼教育相談係長兼指導主事	古
学	校	教	育	課	長補佐兼学校教育係長	立
学	校	教	育	課	長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長	原
生	涯	学	習	課	長兼図書館長	山
生	涯	学	習	課	参事	竹

4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主査 武 田 隆 洋

5 日 程

職員の人事異動について

報 告（教育委員会事務局学校教育課）

学校給食のランニングコストについて

学校閉庁日の設定について

〔報告、質疑〕

6 傍聴者

な し

7 その他

な し

開会

午前10時1分

開議

下田寛委員長

ただいまから、総務文教常任委員会を開会いたします。

本日の日程につきましては、お手元に配付しておりますように、まず人事異動に伴う異動の挨拶、次に学校給食のランニングコストについて、学校閉庁時の設定についてそれぞれ報告を受けたいと思います。

以上、よろしく御了承のほどお願いいたします。



職員の人事異動について

下田寛委員長

それでは、4月1日付で人事異動がありましたので、執行部より異動の挨拶をお受けしたいと思います。

なお、挨拶につきましては、係長以上の職員で新しく異動されてきた方及び内部で異動があった方とさせていただきたいと思います。あらかじめ御了承のほどをお願いいたします。

では、総務部からお願いいたします。

野田寿総務部長

おはようございます。

総務部、出納室、それから行政委員会の異動者の御紹介をしたいと思います。

総務部では、新年度から新たな課として庁舎建設課を設置しておりまして、それに伴い職員配置も行っております。

では、今回4月1日で異動しました係長以上の職員について、順次御紹介させていただきます。

三橋和之総務部次長兼契約管財課長

皆さんおはようございます。

4月の人事異動で、総務部次長兼契約管財課長を拝命しました三橋と申します。

契約管財課は5年目となりますが、総務部の次長として身を引き締めて頑張りたいと思います。よろしくをお願いいたします。

萩原有高産業経済部次長兼建設課参事兼総務部次長兼庁舎建設課参事

おはようございます。

今回の人事異動に伴い、産業経済部次長兼建設課参事及び総務部次長兼庁舎建設課参事を拝命いたしました萩原でございます。誠心誠意努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

江下剛総務課長補佐兼文書法制係長

おはようございます。

4月1日付の人事異動で、総務課長補佐兼文書法制係長を拝命いたしました江下でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

中嶋浩一契約管財課主幹

おはようございます。

4月1日付の人事異動で、契約課管財係主幹となりました中島でございます。今後とも一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

古澤哲也庁舎建設課長

おはようございます。

庁舎建設課長を拝命いたしました古澤でございます。引き続き御指導のほどよろしくお願いいたします。

田中秀信庁舎建設課長補佐兼庁舎建設係長

おはようございます。

庁舎建設課課長補佐兼庁舎建設係長の田中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

吉田秀利会計管理者兼出納室長

おはようございます。

会計管理者兼出納室長を拝命いたしました吉田でございます。よろしくお願いいたします。

廣重浩三選挙管理委員会事務局次長

おはようございます。

このたび選挙管理委員会事務局事務局次長を拝命いたしました廣重浩三と申します。よろしくお願い致します。

古賀和教監査委員事務局長

おはようございます。

監査委員事務局長の古賀でございます。一生懸命頑張りますので、議員の皆様の御指導のほどよろしくお願いいたします。

野田寿総務部長

以上、9人の異動でございます。今後ともよろしく願いたします。

以上で、総務部関係の異動者の紹介を終わります。

下田寛委員長

ありがとうございました。

では、執行部の入れかえを行います。

〔総務部職員退室、企画政策部職員入室〕

それでは、次に、企画政策部から挨拶をお受けしたいと思います。

それでは、願いたします。

石丸健一企画政策部長

おはようございます。

企画政策部でございます。今回、4月1日付の人事異動で、昇格及び異動いたしました係長以上の職員について、順次御紹介させていただきます。

藤川博一企画政策部次長兼まちづくり推進課長兼鳥栖駅周辺整備推進室長

おはようございます。

企画政策部次長兼まちづくり推進課長兼鳥栖駅周辺整備事業推進室長の藤川でございます。今後ともよろしく願いたします。

田中大介総合政策課政策推進係長兼まち・ひと・しごと創生推進室地方創生推進係長

おはようございます。

総合政策課政策推進係長兼まち・ひと・しごと創生推進室地方創生推進係長、田中と申します。よろしく願いたします。

下川広輝まちづくり推進課長補佐兼鳥栖駅周辺整備推進室室長補佐

おはようございます。

まちづくり推進課課長補佐兼鳥栖駅周辺整備推進室室長補佐の下川です。今年度も引き続きよろしく願いたします。

杉本修吉まちづくり推進課鳥栖駅周辺整備推進室整備推進係長

おはようございます。

まちづくり推進課鳥栖駅周辺整備推進室整備推進係長の杉本でございます。どうぞよろしく願いたします。

野下隆寛情報政策課長

おはようございます。

情報政策課長に配属されました野下でございます。よろしく願いたします。

楠和久情報政策課長補佐兼情報政策係長

おはようございます。

情報政策課課長補佐兼情報政策係長の楠と申します。よろしく願いいたします。

山内一哲情報政策課広報統計係長

おはようございます。

情報政策課広報統計係長の山内です。よろしく願いします。

石丸健一企画政策部長

今、御紹介させていただいた7名を含め、部長以下24名で業務を推進してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

下田寛委員長

ありがとうございました。

執行部の入れかえを行いたいと思います。

〔企画政策部職員退室、教育委員会事務局職員入室〕

それでは、次に、教育委員会事務局から挨拶をお受けしたいと思います。

それでは、お願いします。

白水隆弘教育次長

おはようございます。

このたびの4月の人事異動によりまして、教育委員会内で異動した者、教育委員会に配属された者を、順次お手元の表に従いまして紹介をさせますので、よろしく願いいたします。

眞子寛盛教育総務課総務係長

おはようございます。

教育委員会教育総務課総務係長に拝命されました眞子と申します。よろしく願いします。

中島達也学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

おはようございます。

学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事を拝命いたしました中島です。どうぞよろしく願いいたします。

古賀泰伸学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事

おはようございます。

今年度より鳥栖市立旭小学校のほうから、学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事を拝命いたしました古賀泰伸と申します。よろしく願いします。

立石光顕学校教育課長補佐兼学校教育係長

おはようございます。

学校教育課課長補佐兼学校教育係長を拝命いたしました立石と申します。よろしくお願
いします。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

おはようございます。

学校教育課長補佐兼給食センター所長兼学校給食センター係長を拝命いたしました原で
ございます。昨年度に引き続き、よろしくお願いたします。

山津和也生涯学習課長兼図書館長

おはようございます。

生涯学習課長兼図書館長を拝命いたしました山津和也と申します。どうかよろしくお願
いたします。

竹下徹生涯学習課参事

おはようございます。

生涯学習課参事を拝命いたしました竹下と申します。よろしくお願いたします。

白水隆弘教育次長

以上、教育委員会、係長級以上の異動7名でございます。よろしくお願いたします。

下田寛委員長

ありがとうございました。

以上で、職員の人事異動については終了いたします。

執行部準備のため暫時休憩をいたします。

午前10時10分休憩



午前10時11分開議

下田寛委員長

それでは、再開します。



報 告（教育委員会事務局学校教育課）

学校給食のランニングコストについて
学校閉庁日の設定について

下田寛委員長

それでは、報告についてですが、学校給食のランニングコストと学校閉庁日の設定について、2つまとめて報告をお願いしたいと思います。

平川富久学校教育課長

おはようございます。

それでは、まず学校給食センターのランニングコストについて御説明をいたします。

新しく、学校給食センター長になりました原のほうから説明をさせていただきます。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

それでは、資料に沿って御説明をさせていただきます。

お手元の資料、2ページ目をお開きください。

(1)学校給食のランニングコストということで資料のほう、簡単な資料を作成させていただいております。御説明をさせていただきます。

まず、学校給食センターは、平成26年9月1日に稼働しました施設でございます。年度の中で稼働した関係上、光熱水費がそれまで続いていた学校のもの、途中から給食センターの光熱水費が加算をされるというような形になっております。したがって、年度での比較が非常に難しかったものですから、資料といたしましては10月から3月までの光熱水費、そして燃料費の1カ月当たりの平均額を算出いたしまして、それを比較させていただきました。

グラフの中の一番左端、平成25年度に8小学校と給食センターの光熱水費及び燃料費の合計のほうを示しておりますけれども、8小学校では494万4,000円、合計ですね。それで、給食センターにつきましては、建設中途でございますので0円ということになっております。

これが、右側の平成26年度になりますと、8小学校といたしましては318万7,000円。給食センターの光熱水費、そして燃料費につきましては391万円ということになっております。

平成25年度では、約500万円であった学校の光熱水費は、給食センターが稼働した後は318万7,000円と391万円の合計の約700万円が、全体での学校運営で必要となった光熱水費と給食で必要となった光熱水費の合計が約700万円に上がっていると、約200万円ふえているということになっております。

この大きなものは、電気使用料が大幅にふえたことによるものでございます。

まず、学校給食センターにつきましては、調理器具のほとんどがオール電化、電気設備というふうになっております。ガスも全くないわけではないんですけれども、大半が電気の調理器具というふうになっております。

そういったことで、ちょうどグラフでいきますと紫色の部分なんですけれども、小学校自校方式の際には226万3,000円であった電気使用料が平成26年度には約500万円まで上がっている状況でございます。

それと、平成26年度につきましては、小中学校におきまして特別支援学級、そして通常学級への空調設備の整備がなされた年でもございます。そういったところもありまして、平成26年度以降の電気使用料というのは非常に高額になっているところです。

ただ、燃料費——グラフでいきますと一番上の黄色の部分です——こちらにつきましては、ガス使用料ですけれども、こちらにつきましては極端に減少というふうになっております。

また、グラフの一番下の段になりますけれども、上下水道使用料につきましては、平成25年度155万3,000円、そして、それが平成26年度になりますと160万円ほどになっております。若干、上がりはしておりますけれども、このあたりは児童数の関係、学級数の関係で変わっているものというふうに思っております。

以上、簡単ではございますけれども、学校給食のランニングコストについての御説明を終わらせていただきます。

下田寛委員長

では、引き続きお願いします。

平川富久学校教育課長

先ほど、申し遅れました、今年度も学校教育課長を拝命しております平川でございます。今年度もよろしく願いいたします。

それでは、資料の3ページをごらんください。

学校閉庁日の設定、本年、平成30年8月13日から8月15日の3日間、教職員の働き方改革を推進し、教職員の長時間勤務を是正するため、それによって教職員が心身ともにゆとりをもって子供と向き合う時間、環境をつくるために実施をするものでございます。

学校閉庁日、3日間の対応といたしまして、対外的な業務をしない日として保護者や地域や市民の皆様にも今後周知をしていく予定でございます。

3日間につきましては、原則、教職員は出勤をせず、学校として対外的な業務、例えば電話対応であったり、来客対応であったりを行わないことといたします。

教職員は、積極的に休養をする日として夏季休暇等の有給休暇を利用することとしていきます。また、市の職員につきましても、夏季休暇等を利用して仕事を休むことを奨励してい

きたいと考えているところでございます。

といいましても、3日間、児童生徒の重大な事件・事故、命にかかわるようなこと等がある場合は、鳥栖市教育委員会学校教育課で対応していくことも合わせて、今後周知をしていきたいというふうに思っております。

また、学校施設、グラウンド、あるいは体育館等の借用申請につきましても、基本的に貸し出しを中止していきたいと思っておりますが、今現在過去の実績を調べておりますと、やはり借用申請をされている学校も多いようでございます。したがって、個々の鍵等の貸し出し等については、もう一度検討をしていきたいというふうに思っております。

まだ、詳細にわたって決まっていなくてもございますが、4月の教育委員会定例会においてその辺を精査し、決定をさせていただきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

下田寛委員長

ありがとうございました。

では、この際ですので、確認したいことや御意見等ありましたらお受けしたいと思います。

別々にお聞きしたいと思いますので、まずは学校給食のランニングコストについてお願いいたします。

尼寺省悟委員

ちょっと質問の前提として聞きたいんですが、平成25年度の8小学校で4,944万円というのは、当然、給食室の光熱費、燃料費も入っているわけですね。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

8小学校の494万4,000円につきましては、給食室の電気代、ガス代を含んでおります。

尼寺省悟委員

そうしますと、これ、非常に大まかに言って、センター化することによって、結果として、平成26年度を合わせると約7,000万円ぐらいになるんですけども、自校方式から給食センター方式になることによって約2,000万円ふえたというふうに考えてよろしいですか。大まかに言ってですよ。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

1カ月当たり約200万円ふえているということでございます。

尼寺省悟委員

すいません、1カ月に、8小学校が4,944万円、約5,000万円と（「1桁違う」と呼ぶ者あり）

そうか。1桁間違えたね。（「1カ月当たりね」と呼ぶ者あり）

そうですね、494万円が、センターができることによって約700万円ですので、差額、そん

だけふえたというふうに考えていいわけですね。

もっと言うと、単純に比較してみて、494万円から320万円引いて、150万円ぐらいが給食室の燃料代だと。単純に、平成26年度と25年度と比較してみて、そうだといいんですかね。

大まかに見てよ。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

大まかにということであれば、そのように見ていただいてよろしいかと思えます。

尼寺省悟委員

もっと言うと、だから自校方式で150万円ぐらいかかったのがセンター化方式にすると約400万円になっているということで見えていいんですね。

大まかに見てよ。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

電気代の上昇が大きくございますので、単純にというふうにはちょっと申し上げにくいところもありますけれども。「はい、いいです」と呼ぶ者あり)

西依義規委員

これは、人件費というか人では、なぜ入れなかったんですか、計算しにくいんですか。

原祥雄学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

人件費のほうにつきましては、今回の資料には含めておりませんが、一つは単純に自校方式のときの人件費とセンター化したときの人件費の比較はできないというのがございました。と申しますのが、事務職員が、給食センターのほうには配置をしておりますので、自校方式の際にはこのあたりは含んでおりませんでしたので、当然上がるというふうには思いましたので資料としてはいたしていません。

西依義規委員

また単純でいいんですけど、自校方式のときの調理に携わっている人数とセンターで調理に携わっている人数は教えていただけますか。

白水隆弘教育次長

すいません、今回、ランニングコストの比較ということで承りましたので、お手元の資料としております。

それで、人件費、その他の比較につきまして、今資料を持参しておりませんので、よろしければ6月議会までのうちに、詳細は後でどのようなものが必要かをお伺いして、整理をさせていただきますと思います。

よろしく申し上げます。

西依義規委員

じゃあ、今、教育委員会として、この数字をどのように分析、自己分析されていますか。これ、予想どおりやったんですか、それとも、いや、ちょっとやっぱ電気代が高いなとか。

5年、10年見ていくと、例えば自校方式の修理代とかおっしゃってたじゃないですか、昔、そういった改造をするのにという。

それを、もうゆくゆくの、例えば5年スパン、10年スパンのランニングコストで見ると、この数字をどう自己分析されているかだけ、ちょっと聞かせていただいていたいいですか。

白水隆弘教育次長

今、西依委員のほうから御指摘がございましたように、今回センターの建設に至る経緯につきましては、自校の給食室の老朽化、それから衛生面の対応といったものが7校ですかね。7校分、改造するにはかなりの巨額な費用がかかるということでセンター化というような道をたどった、大まかに言えばそういったものだと判断いたしております。

ですから、基本的にランニングコストを単純に比較をしておるといったようなところで資料としてお出し、当時の比較資料としてお示しできていない部分がございます。

平成25年度のこの資料、数字ですね、月平均の分。それから、平成26年度になりましたら、今申しましたように、電気代といたしましてエアコンが入ってきております。

エアコンを入れるために契約金額を、契約のランクをがばっと上げてますんで、そこんところで使用料とは関係なく値上がりをしてくる分が当然ございますので、そのあたりも詳細にどういった資料がどのように御提示できるかということの後で御協議をさせていただければと思います。

それと、現在のランニングコストの比較でございますけれども、日々、月々のセンターでございましてけれども、お手元にお示しをいたしておりますように、ほぼ横ばいか若干少なくなる年があるといったような推移でございます。

一つは、私たちが予想していたよりも少し時間がかかっておりますのが、燃料費の部分のところのガス代ですね。これ、洗浄にガスを使っているわけでございますけれども、当初のラインを流すスピードですね、想定されとった速度でやっておったところが、なかなか落ちない部分が少しあったと。落ちていない部分があったということですので、この速度をかなり落として、今運転をしております。

その関係で、恐らくガス代のほうは当初の想定よりは高くなってきているものと考えております。

それで、人件費でございますけれども、私どものところの事務員が3名おりますけれども、事務職員——一般職でございますけれども——を除いた現業職、それから臨時、嘱託の皆さま

んの賃金からすれば、現業職はもともとでございまして、比較のしようがございせんけれども。臨時、嘱託の皆様方の賃金につきましては、かなり大幅に削減ができておるといったようなところでございます。

しかしながらその反面、今回、センター化しておりますので、輸送コストがかかっておりますので、その分はまたプラスというふうに、プラスマイナス、プラスマイナス出てきておりますので、その辺は精査をさせていただいて、6月までのうちにお示しをできればと考えております。

すいません、お答えにならない部分があったかと思っておりますけれども、以上でございます。

尼寺省悟委員

私、先ほどね、自校方式とセンター方式を比較してみて、1カ月で約200万円と。1年間で2,400万円ぐらい上がっているということをちょっと言いたいやけど。

ただ、その中で、電気代の使用料が多くなっているという書き方しとるね、空調設備のところ。この影響っちゃうのはどんくらい考えたらいいんですか、金額にして。

下田寛委員長

わかりますか。

白水隆弘教育次長

学校の電力の契約といたしましては1本でございまして——1契約ですね——でございますので、空調だけの使用量を取り出して計算するというのは非常に難しいかと思えます。すいません。

尼寺省悟委員

いや、だから差額ということで出てこないわけ。

だから、ここで空調設備したからふえているんだというふうな書き方をしとるんだから、そんならどれだけふえたかということで、これぐらいになるんだ、というふうなことにならないの。あなた方がこういうふうにしとるから、聞いたんやけど。

松隈清之委員

これ、比較を見ると、水道料金と違って極端に、余り変動しないじゃないですか。これ見る限り、ほぼほぼ割り振られているのかなあという気がするんですよ。

多分、洗浄の部分は少しふえているのかもしれないけど。

それで、燃料費も、恐らく電気に振りかわった部分があるんで50万円ぐらいは下がっているわけじゃないですか、燃料費が。その分電気代が上がっているだけ。

電気代の比較が多分難しいと思うんですけど、以前の自校方式のときって給食室って電気、何に使ってましたっけ。そんなに使う、電気を使うところってあったのかな。（「冷蔵庫とか

冷凍庫」と呼ぶ者あり)

冷蔵庫とかそんなもんですよね。

そうするとね、電気代って変動ありますよね、若干。

この平成25年度のときの、電気使用料の中の給食室がどれぐらい使っていたかってちょっとよくわからんですけど。少なくとも、この平成25年度と今の——メーター読みですよね。単価は、さっき言ったように契約金額で変わるんで、何キロワット使ったかっていうの比較すると大体どれくらいふえたかってわかるじゃないですか。

そんな極端に、給食室の電気が、半分ぐらいあるなんてこと多分ないと思うんですね、もともと。全体の電気の使用料の中で、給食室がその半分も使っていたということはないと思うんで。影響自体はそんな極端にないと思うので、どれくらい使用料自体がふえたのか、単価ではなくてっていうのは比較はできるんじゃない——資料があればですけど——比較ができるんじゃないのかなと思うんですよね。

少なくとも、エアコンの影響と給食室で使ってた電気の部分も含めたところでどれくらい——その冷蔵庫とかそんなのの影響があったのかわからんですけどね、エアコンとか給食室の。

ただ、そんな極端じゃないでしょう、多分。3割も4割も給食室で電気代使うことってないから。そうすると、多分、このエアコンの額って結構あると思うんですよね。

少なくともエアコンの額の精度は余り高くないかもしれんけど、そんなくらは比較ができるんじゃないかなと思って、メーター読みだけでも比較すれば。

白水隆弘教育次長

ただいまの、御教示いただきました方法につきまして、資料等を確認させていただきました、数字を拾い上げさせていただきたいと思います。

お時間、いただきたいと思います。

西依義規委員

漠然と知りたいんですけど、給食センターを建てますよね。それで、総人数がこれぐらい例えば要るだろうと、調理するのに30人とか。けど、それをオートメーションというか、例えばガスの洗浄機入れたり、電気のなんかを入れることによって、その30人が25人になるとかいう計算のもとで、その電気代が上がり、結果、だから人件費とこのランニングコストは絶対セットじゃないと難しいと思うんですね、比較が。

僕は、建てて、結果、市民の皆さんに伝えたいんですよ、ちゃんと。実際、例えばこんな経費はかかっているけど、実際トータル面ではこうですよっていうふうに伝える義務があると思うんで、そこは、べらぼうに無茶苦茶な試算で、結果これなら、それも市民の皆さん

んに伝える必要があるんで。

そこを。やっぱり人手を、計算方法わからんですよ。時給でするのかわからんですけど、労力という数字としてしないことには、電気、ガス、その電動オートメーションに変わる、比較のしようがないと思うんですが、そういう何かできんですかね。そういうことを。

竹下繁己委員

すいません、関連で。

確か、センターばつくるときも人件費のコストカットになるというようない文句があったはずなんですよね。トータルして西依議員が言いんしゃったごと人件費、そして配送費ですたいね。全部ひっくるめて、自校方式よりもこんなにお得ですよというようない文句があったと思うんですよね。

でも、ちょっとこがんで見ると、教育委員会さんはこしこかかってますって、すらあと出してきなはって、僕たちも西依議員言わしゃったように、市民に、結構金かかったってしかなわれんわけですたいね。

ただ、今度、中学校も完全給食にするためにもう1個つくろうかなあと思ひよるって言ったら、まあだ金ば使うとかってしか、多分、市民の人たちは言わっしゃらんとやないかなあっと私は思うとですけど。

教育委員会としては、どういったふうにお考えなんでしょうかね。

白水隆弘教育次長

ただいまの、お二方からの御意見でございますけれども、教育委員会といたしましては、極力不要なコストはカットしていくといった立場は、もう一貫して変わってございません。

しかしながら、必要な部分は当然投入していくということでございますので、今おっしゃっていただきましたように、人件費、それから輸送費ですね。配送費を含めた全てのコストを洗い出して、ちょっと比較ができるように――若干でも比較ができるようにですね、表を改めさせていただきたいと思ひます。

よろしく申し上げます。

西依義規委員

僕はちょっと違う立場で、余りにも子供たちの、もちろん安全、安心は大事と思うんですね。けど、余りにももう過保護やないけど、し過ぎてですよ、どんどんどんお金がかさむなら、やっぱ回り回って市民の皆さんの税金を使っているんで、その辺はうまいバランスで、やっぱこの辺はこれぐらいの感じでっていう。

そこを例えば、今5年間なんで、移行期間なんでちょっと丁寧にやり過ぎたと、今からしつかり、僕はコストを見ながらシビアに見ていくという方法もありかなと思うんで、そこは

ちょっと多分意見の違う方もいらっしゃると思うんですけど、これは僕の意見として。すいません。

尼寺省悟委員

ここの、一番下のコメントのところにね、やっぱ書いてないったいね。

結論として、比較してみるとやっぱり月200万から240万円ふえているんですよと、センタ一化になったことだというのがこれ書いてないったいね。だから、それが一体何なのかと。

それが電気使用料だと言いたいのかなと思うけれどもね、あんま電気使用料、大したあれじゃないんで。

そこはそことして、きちっとランニングコストの比較になるんだから、その辺はちゃんとやっぱ書いていただきたいと思いますね。どうなかと、数字としてね。

下田寛委員長

よろしいですか。

竹下繁己委員

すいません、意見なんですけれども、電気代、結構注目されているんですけど、小学校とかの、給食センターじゃなくて——小学校とかの照明とかエアコンとか、電気代がかかったらちょっと指導が入るとか、そういうこともちょっと小耳に挟んだような気がするんですよ。

だから、エアコンを入れるの、空調を入れる判断もぎりぎりまで待って、きょうはしょうがない、エアコン入れようというような判断をされているようなんですよ。

せっかく空調をつけていただいて、何度から上に上がったらスイッチを入れるとかルールもありますけれども、これ湿度とかそういった問題もありますんで、余りにも締めつけて、電気代が上がってるよとかなると、今度、教育現場が過ごしにくくなるのかなと思いますんで、その辺を御配慮いただきたいなと思います。

下田寛委員長

ほか、よろしいですか。

[発言する者なし]

また改めて、教育委員会の皆さんには、そのランニングコストの比較ができる表を出していただくということで、よろしくお願いします。

では、次に行きたいと思います。

それでは、次に学校閉庁日の設定について、御意見いかがでしょうか。

西依義規委員

1年間の学校閉庁日は、1年間でこの日だけってことですか。

平川富久学校教育課長

これまでも、年末年始3日間ずつ6日間、それはございました。それはずっと続けてまいります、平成30年度から新規に、この13、14、15日、お盆の3日間を新たに学校閉庁日と設定をしたいと考えているところでございます。

下田寛委員長

ほか、よろしいですか。

飛松妙子委員

対外的な業務をしない日ということで、この8月のお盆の時期に、今まで過去にどういうことが、学校に問い合わせというのがあったのかどうかを教えてくださいなのですが。

平川富久学校教育課長

ほとんどあっておりません。学校に、私も3日間ずっと1日中、3日間1人でいたこともございますが、電話が鳴ったことはほとんどありません。

以上でございます。

飛松妙子委員

わかりました。ありがとうございます。

あとは、市民の皆様にご周知をさせていただくかということだと思いますので、PTA、学校、あとそのほかにも自治会とか、いろいろ周知していただいて、しっかり教職員の方には休んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。

松隈清之委員

今、13、14、15日とか、課長はね、1人でいたこともありますと言われましたけど、大体どれくらいの方が勤務されているんですか。

平川富久学校教育課長

ほぼ管理職が交代で出てくる、あるいは市の職員さんが交代で出てくる、その程度です。うですね、1人、2人のときもあります。

学校によっていろいろですが、基本的に一般の教職員が出てくることはほぼございません。

松隈清之委員

別に、閉庁日を設定するのは構わないと思うんですけどね、ただ、いわゆる目的が、長時間勤務を是正するということになると、今でもほぼ出てきてないということだったら、そんなに変わらないんですよ、これ。閉庁日にしたところで、今まで1人か2人がね、ちょっと出てきていたところの、長時間勤務っていうほどもね。

これが、長時間勤務の是正であるなら、もうちょっと、そのためになるんだったらもっと別のことも考えないといけないですよ。実際、長時間勤務の実態よくわからないですけど。

閉庁日の設定自体は、特に問題がない範囲であればね、設定していただいてもいいと思うん

だけど、実質今そんなに、じゃあ皆さんが出てきてて、仕事をされているっていうことになると、まあ、お盆ぐらいはね、特に問題なければ休んでいただいてもいいと思うんですけど。

今、あんまり出てきている方がいらっしゃらないとなると、直接的な長時間勤務の是正になるのかなあと。全然、設定するのは構わないと思うんですけども。

実際、むしろ通常の学期のときのほうがやっぱり長時間になりがちなんですよ、どちらかといえば。そこは、何かこういう、長時間勤務の是正と違って考えてありますか。

平川富久学校教育課長

この3日間につきましては、先ほどのような職員の勤務実態はございますが、こうやって教育委員会のほうからこういうふうに学校閉庁日として市民に知らせることで、教職員のほうも今までもそうだったかもしれませんが、気持ち的にもやっぱり違うのではないかなというふうに思っております。

それから、通常の開庁日の長時間勤務の是正につきましては、前回もお話をさせていただきましたように、小学校につきましては毎週金曜日、中学につきましては毎週月曜日を定時退勤日というふうにしております。これにつきましては、数年前からそのように設定をしておりましたが、なかなか実態を伴わないところがございました。

昨年度、教職員の勤務実態が大きく報道されたときから、本市でも学校のほうに、職員の意識化を図るようというところで月曜日と金曜日、毎週できるだけ早く帰ろうという意識は、調査の結果高まりつつあるところでございます。

また、そのほかの曜日につきましても、積極的に業務がなければ帰っていただいて当然いわけでございますので、その辺の意識改革ですね——なかなか早く帰れない、遅くまでいなきゃいけないような雰囲気を変えていくように管理職のほうにも指導をしているところでございます。

以上でございます。

下田寛委員長

ほか、よろしいですか。

天野昌明教育長

この3日間というのが、こういう形で取るんですけども、私も管理職をしていたころは、教頭とか教務主任とか、今は主幹教諭とか指導教諭がおりますので、そういう職員を入れかえて休ませるという形を取ってましたけど、中心は、やっぱり管理職をきちっと休ませるとというのが私は一番の意義だなというふうに思っています。

だから、もう完全に閉めますよと。だから、最初からもうこの日は——普通教頭が出るときは校長と入れかわり、常にその辺を考えて動かなくてはいけないわけですね。だから、い

や、もう完全に休みますと。この3日間休みますというのが一つあります。

それともう一つは、将来的に私は、この3日間を1週間とか10日間とか、もしうまくいけばですね——出張の関係であるとかいろいろ対外的なことが出てくるんですけども。もう少し、その辺を柔軟に考えて1週間ほどというふうなことも含めて考えていきたいというふうに思っています。

まずは3日間を休みと、そして、他の市町も含めて見ていくと、3日間はやろうということで、大体県内も半分以上の市町がこういう形で、3日はまずやろうということでやってますので、そこも含めて考えていきたいというふうに思っています。

以上です。

下田寛委員長

よろしいでしょうか。

それでは、以上で、学校教育課からの報告については終わります。



下田寛委員長

以上で、本日の総務文教常任委員会を閉会いたします。

午前10時44分閉会

鳥栖市議会委員会条例第 29 条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会総務文教常任委員長 下 田 寛 ⑩

